



2009年12月2日

各 位

培養口腔粘膜上皮細胞シートに関する日本特許取得のお知らせ

アルブラスト株式会社
代表取締役社長 北川 全
神戸市中央区港島南町五丁目5番2号
神戸国際ビジネスセンタービル

この度、当社の下記出願特許が成立しましたのでお知らせいたします。

出願番号：特願 2003-545226 (PCT/JP02/11857)

特許番号：特許第 4392855 号 (登録日：2009年10月23日)

発明の名称：角膜上皮様シート、及びその作製方法

出願人：アルブラスト株式会社

発明者：中村隆宏、木下茂

本特許は、培養口腔粘膜上皮細胞シート(開発コード：AMT-201、以下「AMT-201」)とその作製方法に関する基本特許です。

眼表面の角膜上皮が種々の原因により損傷を受けて生じる角膜上皮疾患のうち、強い炎症を伴うなど重症度の高い難治性角膜上皮疾患(スティーブンス・ジョンソン症候群や眼類天疱瘡、熱・化学腐食など)に対しては、これまで有効な治療方法がありませんでした。このような疾患に対し、本特許の発明者である京都府立医科大学 眼科学教室の木下茂教授らは、羊膜由来のコラーゲン上に上皮細胞を培養して作製した細胞シートを移植することによる治療技術を発明されました。本特許はその技術のひとつに関するものです。

本特許技術の主な特長は、1)自己組織採取が容易な口腔粘膜上皮細胞を用いて角膜上皮組織と同様のバリア機能を有する細胞シートの作製に成功したことにより、拒絶反応や免疫抑制剤使用による副作用の心配がなく、両眼性疾患など自己の角膜上皮細胞の取得が困難な患者においても適用可能であることと、2)上皮細胞の培養基質として羊膜由来のコラーゲンを使用することにより眼表面の安定化が可能となり、重症度の高い患者にも有効な移植材料であることです。

本技術による移植治療は臨床研究において国内で既に140回以上実施され効果が確認されており、当社ではこの細胞シートをAMT-201として製品化することを目指し、現在、厚生労働省への確認申請の準備中です。なお、先行開発品である他家培養角膜上皮細胞シート(開発コード：AMT-301。来年初頭に臨床試験入りを計画。羊膜由来コラーゲン上に他家角膜上皮細胞を培養して作製する)とAMT-201とはそれぞれ異なる特長を有しており、当社はあらゆるタイプの重症眼表面疾患を治療可能とすべく、これらの開発を並行して推し進めてまいります。

<上記に関する問い合わせ先>

アルブラスト株式会社(東京支社) 担当：経営企画室 長谷川恵子

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目19番4号 本郷大関ビル8階

TEL: 03-6801-2755

FAX: 03-6801-2756

E-mail: info@arblast.jp

URL: http://www.arblast.jp